

29pmA-137

微生物代謝産物由来の抗トリパノソーマ原虫活性物質の探索研究 (4)

稲橋 佑起¹, ○岩月 正人¹, 石山 亜紀¹, Watanalai PANBANGRED², 廣瀬 友靖^{1,3},
砂塚 敏明^{1,3}, 松本 厚子¹, 高橋 洋子^{1,3}, 乙黒 一彦¹, 大村 智¹(¹北里大生命研,
²タイ・マヒドン大理, ³北里大感染制御)

【目的】Human African Trypanosomiasis (HAT)は neglected diseases の一つであり、アフリカ睡眠病として知られている。HAT は *T. brucei rhodesiense* 及び *T. brucei gambiense* によって引き起こされる病気であり、サハラ以南のアフリカにおける年間罹患者が 30-50 万人、死亡者が 5 万人と推定されている。既存治療薬は経口投与が出来ない、重篤な副作用、薬剤耐性原虫の増加といった問題から新しい治療薬の開発が望まれている。

【方法および結果】我々は *in vitro* および *in vivo* 抗トリパノソーマ活性の評価系を構築し¹⁾、北里生命科学研究所が保有する抗生物質ライブラリー及び微生物代謝産物等の天然素材のスクリーニングを行い、KS-505a および leucinostatin 類が *in vivo* においても治療効果を示すことを報告してきた^{2,3)}。

今回更なるスクリーニングの結果、タイ植物由来の放線菌培養液よりケミカルスクリーニングで発見した新規化合物群が *in vitro* で強力な抗トリパノソーマ活性を示すことを新たに見出した。本大会では見出した化合物群の発酵、精製、構造決定および生物活性について詳細を報告する。

- 1)第 129 年会薬学会 27P-pm238、2) Ishiyama A., *et al.*, *J. Antibiot.*, **61**, 627-632 (2008)
- 3) Ishiyama A., *et al.*, *J. Antibiot.*, **62**, 303-308 (2009)